

事務事業名	筑前茜染活用事業	外部評価の状況	事務事業No.	453 - 2
		なし		

1. 基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
経済部	特産品振興・ふるさと応援課	特産品振興係	主事	武内 夏来	課長	今林 直久
施策体系	総合計画	政策	4	地域経済		
		施策	5	観光の振興		
		基本事業	3	特産品を生かした観光資源の開拓		
	その他の計画	個別計画	第2次飯塚市観光振興基本計画			
根拠法令・条例・要綱等	-					
事業開始年度	令和2年度	事業終了年度	継続	事務事業類型	ソフト事業	
実施手法	その他	補助金等の支給	なし	実施計画期間	令和2年度～令和4年度	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要	日の丸を初めて染めたといわれる筑前茜染は、後継者不足やその原料となる茜草の減少により染色技術や茜染めの存続が危ぶまれており、飯塚市筑前茜染協議会を設立して筑前茜染の育成・染物体験や飯塚市の新たな特産品の開発に取り組み、地域の個性や歴史・文化伝承等の特性を生かした活動を実施し、郷土に対する愛着や誇りを持つことで、飯塚市の活性化に寄与することを目的とする。					
対象	働きかける相手・もの	筑前茜染の後継者となる市民				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	後継者不足の筑前茜染め保存に取り組む活動者の活動を支援する				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	筑前茜染の保存を主体となって活動する組織を設立し、新たに商品を開発する				

3. 活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
飯塚市筑前茜染協議会設立準備	回	協議会設立のための準備会開催数	0	6	0
補助金交付	件	補助金交付件数	0	0	1

4. 成果指標（決算成果説明書と連動）

指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
協議会の設立	件	1	目標値	0	1
	方向性	達成目標年度	実績	0	1
	維持	令和2年	達成率	#DIV/0!	100.00%
啓発用品の作成	個	2	目標値	0	2
	方向性	達成目標年度	実績	0	2
	維持	令和2年	達成率	#DIV/0!	100.00%
筑前茜染製品の作成	個	2	目標値	0	0
	方向性	達成目標年度	実績	0	0
	増加	令和4年	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

予算科目・事業	会計 1 一般会計	款 7 商工費	項 1 商工費	目 2 商工業振興費		
	大 2 商工業振興事業費	中 35 筑前茜染活用事業費【政策】	他 0 事業			
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	区分(R1まで)	(R2以降)	前年度実績実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由 (10%以上の場合)	次年度予算(千円)
	正職員	正職員	0.00 人 0	0.47 人 3,704	本年度新規事業	1.05 人 8,274
	任期付職員(保育士)	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(CW・水災)	任期付職員(CW・水災)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用フル	再任用フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用短	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	嘱託職員	1級フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	臨時職員	1級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
		2級パート		0.00 人 0		0.00 人 0
	人件費計 (A)			0		3,704
事業費						
直接事業費のうち						
の主な歳出内訳						
委託料			0	479	0	
負担金補助及び交付金			0	0	634	
財源内訳						
使用料・手数料(受益者負担分)			0	0	0	
国・県支出金			0	2,015	634	
市債			0	0	0	
一般財源			0	3,597	8,274	
その他()						

6. 事務事業の事後評価★

評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性評価 (上位施策/成果)	市の関与の妥当性	妥当	将来的に市の観光振興施策に寄与する要素があることから、妥当性あり。
	目的の妥当性	妥当	茜草の育成、染物体験、筑前茜染学習会など啓発を行っており、伝統文化の復活と市の新たな特産品として、将来に繋がる活動をしているため、妥当性はある。
	対象(受益者)の妥当性	妥当	筑前茜染を幅広く市民に伝えることで、市のイメージ向上につながることから、受益者への妥当性はある。
効率性評価 (活動量/コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地あり	飯塚市筑前茜染協議会を設置したことにより、市が直接担っていた運営及び事業活動を見直す余地はある。
	負担割合の適正化	適正	次年度以降は協議会による運営とするため、負担割合の軽減が見込まれる。
	手段の最適性	検討の余地あり	本年度事業においては、市の予算で実施したが、次年度以降は飯塚市筑前茜染協議会へ補助金交付を行い、協議会での運営及び事業活動として取り組むため、経費の削減を予定している。
有効性評価 (成果/活動量)	目標達成度	達成	本年度は、飯塚市筑前茜染協議会の設立が主な目標であったため、目標を達成。
	上位施策への貢献度	貢献できた	市の総合計画に記されている特産品を生かした観光資源の開拓に向けた取組みとして今後も貢献できる。
	事業継続の有効性	ある	現在は茜草の育成、染物体験、筑前茜染学習会などが主となっており、今後は体験・啓発だけでなく、商品開発、販売に向けた取り組みを行うなど継続的な事業へと繋げていく。

7. 前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性		
なし	なし	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	本年度からの実施事業
		次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	本年度からの実施事業

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度実施できたこと、などを記入

本年度からの実施事業

8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★

【成果】	飯塚市筑前茜染の協議会を設立することができ、協議会において啓発用品の作成を2件行うことができた。
【課題】	協議会が主体的に活動し、筑前茜染の保存活動及び新製品の開発、製品販売を行っていく仕組みづくりが今後の課題。茜草育成地の拡大とともに筑前茜染のノウハウを協議会において取り入れることが課題。 筑前茜染の文化継承には、子どものころから触れ親しむことが重要であるため、小中学校での学習の機会を増やす取組みとして対象校を拡充することが必要。

9. 今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	コスト投入の方向性				評価区分	事務事業の方向性
	拡充	現状維持	縮小	休・廃止		
一次評価	④	②	①		②コストは現状維持し、成果を拡充	
二次評価	③	⑤			②コストは現状維持し、成果を拡充	
休・廃止	⑦	⑥				

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策	筑前茜染の文化継承に関する活動範囲の拡充(対象とする小中学校の拡大)
コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策	筑前茜染製剤の商品開発に係る経費及び製品販売に向けた検討事項(価格設定、販路、製造体制など)を調整し、将来的な自主財源の確保により、自立へと繋げる。

評価変更理由	担当課は記載しない。
--------	------------